

株式会社 ジャパックス

2023年 環境活動レポート

(対象期間:2023年7月～2024年 6月)



発行日 2024年11月1日

株式会社ジャパックス

<企業理念>

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化の時代に対して、土木建設事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、地域の環境にやさしいまちづくりを心掛けて環境保全活動に継続的に取り組みます

<環境経営方針>

1. 具体的に次のことに取り組みます

- ① 未来に繋げ豊かな地球
- ② 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ③ 水資源の節水
- ④ コピー用紙の削減
- ⑤ 環境にやさしい三次元スキャナー計測を推進します
- ⑥ 再資源化を図るために廃棄物の分別を計画的に行います
- ⑦ 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します

2. 環境経営方針は、全従業員に周知します。

制定日： 2014年7月1日
改訂日： 2020年11月27日

代表取締役

高垣 陽一

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 ジャパックス

代表取締役 高垣 陽一

(2) 所在地

神戸本店 兵庫県神戸市東灘区本山中町四丁目2番3号

大阪本社 大阪府吹田市江坂町1丁目6番6号

姫路支店 兵庫県姫路市飾西60 - 2

豊岡支店 兵庫県豊岡市昭和町2-50 河本ビル

熊本支店 熊本県熊本市中央区北千反畑町1-7

東京営業所 東京都足立区西加平2丁目3番10号

神奈川営業所 横浜市西区平沼2丁目4番1号

滋賀営業所 滋賀県大津市朝日が丘1-4-31

箕面営業所 大阪府箕面市半町2丁目12番22号

京都営業所 京都府京都市右京区京北下町畑野33

中丹営業所 京都府綾部市新宮町6-1

奈良営業所 奈良県奈良市押熊町458-1

和歌山営業所 和歌山県田辺市新屋敷町12-12

福岡営業所 福岡市南区塩原3丁目13番16号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 濱 正彦 TEL 078-277-1811

連絡担当者

〃

〃

(4) 事業内容

建設コンサルタント業務（計画・設計、測量、調査、地理情報システム設計、データベース構築・入力、情報通信設備設計）

(5) 事業の規模

創業 昭和55年

資本金 7,000万円

従業員 132名

延べ床面積 1,276㎡

設計業務57件、調査9件、測量20件、IT関連・3Dレーザー10件、ドローン（UAV）4件

(6) 事業年度

6月1日～5月31日

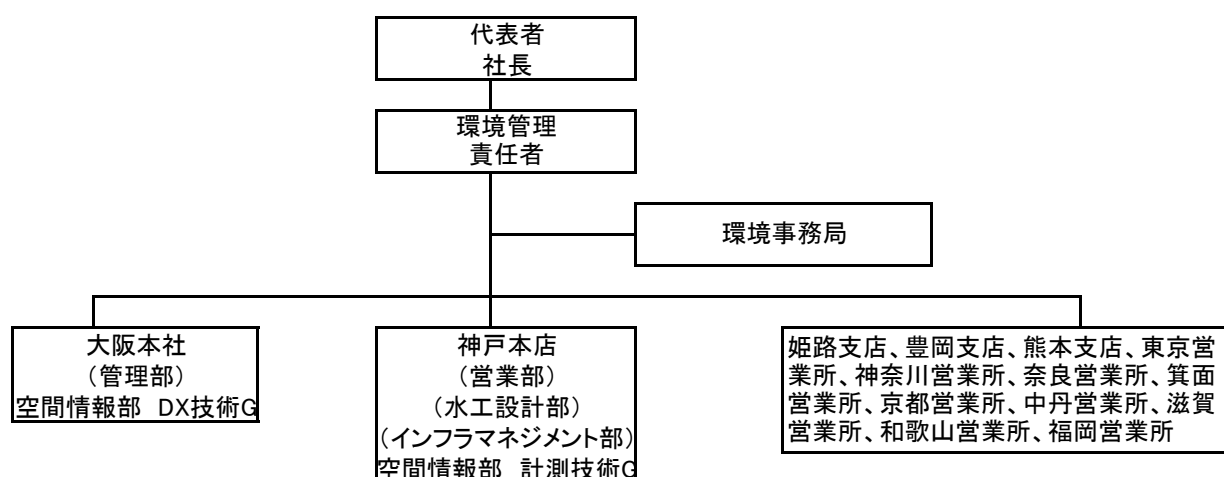
□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名：株式会社 ジャパックス

対象事業所：上記全組織（対象外組織なし）

活動： 建設コンサルタント業務（計画・設計、測量、調査、地理情報システム設計、データベース構築・入力、情報通信設備設計）以上の全活動

実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績(全社)

項 目	単位	2021年度※4	2022年度※4	2023年度※4
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	65,651	45,640	118,493
廃棄物排出量	kg	933	3,051	3,533
一般廃棄物量排出量	kg	933	3,051	3,533
産業廃棄物排出	kg	0.0	0.0	0.0
総排水量	m ³	122	91	169

※4：関西電力の2022年度CO₂調整後排出係数 0.434 kg-CO₂/kWh

2022年CO₂排出係数 0.334 kg-CO₂/kWh

2021年CO₂排出係数 0.351 kg-CO₂/kWh

※活動年度に至近の二酸化炭素排出係数を使用することで実排出量に近似した二酸化炭素排出量比較を心掛けています。

□環境目標及びその実績(神戸・大阪)

項 目 \ 年 度		基準値	2023年度		2024年度	2025年度
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の消費に伴う二酸化炭素削減	評価			目標未達成		
	kg-CO ₂	18,703	17,207	34,936	17,020	16,833
	kWh	43,095	39,647	80,497	39,216	38,786
	基準年比	2013年度	92%	187%	91%	90%
自動車燃料消費に伴う二酸化炭素削減	評価			目標未達成		
	kg-CO ₂	23,513	22,102	27,540	21,867	21,632
	基準年比	2013年度	94%	117%	93%	92%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	42,216	39,309	62,476	38,887	38,465
コピー使用枚数の削減(廃棄物の削減)	枚	233,224	200,573	708,796	198,240	195,908
	評価			目標未達成		
	基準年比	2013年度	86%	304%	85%	84%
水資源の節水	m ³	127	109	83	109	109
	評価			目標達成		
	基準年比	2020年度	86%	65%	86%	86%
次世代測量技術の推進	件	5件/年	18件/年間	14件	19件/年間	20件/年間
	評価			目標未達成		
	基準年比	2020年度	+13件	+9件	+14件	+15件

□環境目標及びその実績(姫路・豊岡)

項 目 \ 年 度		基準値	2023年度		2024年度	2025年度
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の消費に伴う二酸化炭素削減	評価			目標未達成		
	kg-CO ₂	29,416	27,063	33,367	26,769	26,474
	kWh	67,779	62,357	76,882	61,679	61,001
	基準年比	2022年度	92%	115%	91%	90%
自動車燃料消費に伴う二酸化炭素削減	評価			目標未達成		
	kg-CO ₂	19,271	18,115	22,574	17,922	17,729
	基準年比	2022年度	94%	117%	93%	92%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	48,687	45,178	55,941	44,691	44,203
コピー使用枚数の削減(廃棄物の削減)	枚	213,019	183,196	174,501	181,066	178,936
	評価			目標達成		
	基準年比	2022年度	86%	82%	85%	84%
水資源の節水	m ³	118	101	86	101	101
	評価			目標達成		
	基準年比	2022年度	86%	73%	86%	86%

※購入電力排出係数0.434(kg-CO₂/kWh)は、関西電力2022年調整後排出係数を基準年度も含めて使用

※化学物質の使用はありません

※廃棄物は事業系一般廃棄物のみで産業廃棄物の排出はありません。

□環境活動・計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

電力の消費に伴う二酸化炭素削減				
数値目標（神戸・大阪）	目標未達成			
数値目標（姫路・豊岡）	目標未達成			
・事務所空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	△	継続		大幅な人員増もあり総量比較では基準年比で大幅増（2倍強）となり、目標未達成となった。基準年の見直しを含め、更に節電努力する。
・不要照明の消灯	○	継続		
自動車燃料消費に伴う二酸化炭素削減				
数値目標（神戸・大阪）	目標未達成			
数値目標（姫路・豊岡）	目標達成			
・アイドリングストップ	○	継続		受注金額が前年同期の120%増となり、その為車輛燃料の消費量の増加は否めないが、導入車両のエコカー化は進んでおり、省エネ意識の啓蒙も適切に実施し、打合せ時の移動は公共機関を積極的に利用している。使用量の総量比較では基準年に大きく及ばなかった。次年度も引き続き、この活動で目標達成を目指し、総量評価でも目評達成を目指します。
・公共交通機関の利用	△	継続		
・ついでの仕事を作る	△	継続		
水資源の節水				
数値目標（神戸・大阪）	目標達成			
数値目標（姫路・豊岡）	目標達成			
・節水シールの貼り付けとポスター掲	○	継続		神戸本店では使用量がテナント数での頭割りでの水道料生産の為、把握できなくなった。大阪本社だけの水道使用量の評価となるが、節水活動が奏功し、目標達成となった。次年度も引き続き目標達成を目指して、取組に注力する。
・洗車はGSで！	○	継続		
コピー使用枚数の削減（廃棄物の削減）				
数値目標（神戸・大阪）	目標未達成			
数値目標（姫路・豊岡）	目標未達成			
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	継続		受注金額が前年同期の120%増となり、コピー用紙の使用量の増加は致し方のない状況。次年度以降、電子文書化の推進など、ペーパーレス化推進のシステム改善（社内会議等）が奏功し、総量評価及び原単位評価の双方での効果が期待します。
・コピー裏面使用による消費量削減	○	継続		
・電子納品等のペーパーレス化の取組み推奨	△	継続		
次世代測量技術の推進				
数値目標	目標未達成			
・積極的な営業活動	○	継続		測量技術では3Dレーザー観測、UAVドローン撮影を積極的に営業活動を進めて毎年契約件数は増加している。新技術提案も測量業務だけではなく設計業務にも役立てている。
・発注者への提案	○	継続		
・ドローン、3D測量関連受注も含む	○	継続		

□環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

法規制	要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物（紙ごみ）	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコンの定期点検・記録保管、廃棄時の管理者責任	遵守
消防法	消火器設置基準	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

2023年7月1日～2024年6月30日までの間に訴訟、苦情、要望等の発生は有りませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年11月1日 代表取締役 高垣 陽一

運用開始から11年目を迎えました。業績は、好調に推移しておりますが、業務量の増加に比例し、資源の使用量は増加し、量的な削減目標の達成には厳しい状況が続いています。未達項目の中で、特に電力使用量は、重大な課題ですが、気を引き締めて、改めて目標の達成に向けた活動を推進していくことを指示しました。次年度も引き続き、目標達成に最大限の努力を進めます。

環境経営方針	☒	変更なし	☐	変更あり	
環境経営目標・計画	☐	変更なし	☒	変更あり	※姫路支店、豊岡支店を目標に追加
実施体制他	☒	変更なし	☐	変更あり	